

2025/7/20

EUROMAR 2025 参加報告

群馬大学大学院理工学府 博士課程 1 年 河端夏輝

この度、日本核磁気共鳴学会 2025 年度 第 1 回若手研究者渡航奨励金のご支援を賜り、Oulu (Finland) で開催された The 21st European Magnetic Resonance Congress (EUROMAR) 2025 に参加させていただきました。ご支援につきまして、日本核磁気共鳴学会会長である木川隆則先生、若手渡航選考委員である池上貴久先生・浅野敦志先生および故京極好正先生、故阿久津政明先生、ならびにご家族と関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

本学会は、Oulu Music Centre and Pohjankartano Multipurpose Building (Oulu, Finland) を会場として、2025 年 7 月 6 日から 10 日の 5 日間で開催されました。21 年の EUROMAR の歴史のなかで、フィンランドでの開催は初だそうです。Oulu 市は、フィンランドの真ん中付近：北緯 65 度に位置しており、気温は夏場でも 18°C 程度、カラッとした気候で非常に過ごしやすく感じました。また、7 月は白夜であり、街は真夜中でも活気がありました。日が暮れないので、学会参加者の方々も、学会終了後の時間を非常に満喫していたように思います。

私は、「Development of an MRI methodology for polymeric films by *ex-situ* solid-state NMR with a needle-like ferromagnet」という題目でポスター発表を行いました。針状強磁性体による静的磁場勾配を利用した、安価かつ簡便な新規の固体 NMR イメージング法を用いて、高分子膜材料の分子ダイナミクスを明らかにするという内容です。

さらに今回は、Flash Talk にも選出していただき、4 分間の口頭発表も行いました。私にとって、国際学会での口頭発表は初めてで非常に緊張しましたが、とても良い経験となり、チャレンジして良かった！と感じております。私の発表の様子は、学会公式 X アカウント (<https://x.com/euromar2025>) からでも発信していただきました。

今回は、世界中から 500 件近い発表があり、およそ 700 名が参加したそうです。たくさんの興味深い発表がありましたが、特に、学会の裏テーマである Bird (鳥) にちなんだ発表である、「Animal Detected Magnetic Resonance (Dr. Peter Hore, Oxford Univ.)」は印象的でした。渡り鳥の優れた磁気感覚には、

鳥の目の光受容細胞にあるタンパク質内で、光によって生じたラジカル対の量子スピンドイナミクスが大きく関与しているのではないかという内容で、非常にユニークで新鮮でした。

その他、発表者それぞれ、お気に入りの鳥の写真やイラストを資料に散りばめており、皆さんの遊び心を垣間見ることができました。

学会プログラムとしては、Conference Dinner や Bruker Night といった食事会のほかに、JEOL Music Night では、学会参加者の有志による楽器演奏+Oulu 大学管弦楽部による弦楽四重奏を披露していただき、学会員の方の多才さに驚くとともに、素晴らしい演奏による非常に心地の良い時間を過ごすことができました。また、Oulu の街を楽しむ City Walking & Running も開催され、ランナーの方は本気でランニングしていました。

総じて、心地よい気候と白夜の Oulu で、世界中の研究者の方から大きな刺激を受けて、さらに Flash Talk の機会も頂けて、大満足な EUROMAR2025 でした。この経験を糧に、今後の研究も頑張ります！！

Thank you very much to all the organizers of EUROMAR2025!!



学会会場：Oulu Music Center



Oulu で見かけた鳥



Flash Talk の様子(公式 X より)



Closing Ceremony の様子